

授業概要

企業が開示する財務諸表、決算説明資料、統合報告書等からその経営成績と財務状況を分析評価するための基本的な手法を習得できるように講義します。さらに、近年重視されている非財務情報、サステナビリティ会計についてそのポイントと財務情報との関連を説明します。企業価値算定等、経営分析から得られた情報の活用方法について習得することを目指します。

授業計画

第 1 回	経営分析とは？ 何のために？
第 2 回	会計制度の基本、財務諸表の仕組み
第 3 回	貸借対照表の見方
第 4 回	損益計算書の見方
第 5 回	キャッシュフロー計算書の見方
第 6 回	連結財務諸表の見方
第 7 回	成長性分析
第 8 回	収益性分析 1（ROE、ROA、ROIC）
第 9 回	収益性分析 2（ROE と PBR の分解、資本コスト算出）
第 10 回	損益分岐点分析
第 11 回	安全性分析
第 12 回	非財務情報、サステナビリティ会計
第 13 回	企業価値算定
第 14 回	経営分析の活用（投融資）
第 15 回	まとめ（補足説明、要点整理、演習）
第 16 回	期末筆記試験

到達目標

以下の目標を設定します。

1. 基本的な経営分析手法が活用できる
2. 経営分析が投融資に活用できる
3. 非財務情報やサステナビリティ会計の内容を理解できる

履修上の注意

財務諸表の仕組みについての基本的な理解を前提とします。わからない用語は必ず調べて曖昧にしないことを心掛けてください。できるだけ多くの財務諸表、決算説明資料、統合報告書に目を通してください。なお、スケジュールは状況次第で変更し得ることをご理解ください。

予習・復習

復習が重要です。復習と課題提出に尽力してください。また、日本経済新聞の証券欄はよく目を通してください。

評価方法

期末筆記試験 70%、毎講義後の課題 30%で評価します。

テキスト

資料を用意します。